

各記者の皆様におかれましては、ご多忙のところ ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

それでは、3月定例会の日程及び、主な議案の 内容について、ご説明いたします。
まず、会期は、来週2月16日から、3月19日までの33日間の予定です。

次に、令和6年度当初予算につきまして、ご説明いたします。

お手元の資料「令和6年度予算(案)のポイント」にありますとおり、

まず、一般会計の予算規模は、788億8千万円で、対前年度比 7.4%の増となっております。

令和6年度の予算編成にあたりましては、物価 高騰の影響が続く中で、本市が掲げる『みんなでつくる みんなが輝くまち あげお』を実現していくため、4つの基本方針を掲げました。

一つ目は、「次代を担う人への投資・活力と賑わいの創出」、
二つ目は、「デジタルトランスフォーメーションの 推進」、
三つ目は、「住民の命を守るための防災・減災対策の充実・強化」、
四つ目は、「将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進」です。

これらの方針のもと、必要性・緊急性などの観点から、優先順位を見極めつつ、「ワイズ・スペンディング」を徹底しながら予算編成を行いました。

本市は、特に、「子育て」と「教育環境の充実」に 力を入れております。

とりわけ、妊娠・出産を含めた子ども・子育て支援については、皆さんのお手元に資料がありますが「上尾」のスペル「エー・ジー・イー・オー」を、「エイジ・ゼロ」に置き換え、「0歳から輝くまち」として「フロム・エイジ・ゼロ」という新たなスローガンをかけ、4月から更に「子育てのまち あげお」を積極的に展開してまいります。

具体的には、「こども医療費の18歳までの無償化」や、埼玉県内初となる、オンラインで心理士のカウンセリングを受けられる「オンライン子育て支援事業」を実施します。

また、本市では、「進んで英語を話せる上尾の子を育てる」ことを目指し、上尾市英語力向上プランを策定し、英語教育に力を入れております。

令和6年度は、就学前の子どもたちが、歌や遊びを通して楽しみながら英語に触れることができる「保育所での 英語体験の実施」や、中学校部活動地域移行推進事業の一環として、全国初となる 英会話コミュニケーションクラブ「イングリッシュ サロン・小さな外国」を設立

し、更なる英語活動の推進を図ってまいります。

さらに、いじめ問題を始めとする、さまざまな学校現場の諸問題に対応するため、新たに「スクールロイヤー」を設置し、法的な相談体制を整備いたします。

また、【活力と賑わいの創出】として、丸山公園の大規模遊具更新のほか、動物とのふれあいの場を整備し、上尾駅周辺では、ARを活用した、観光スポットの設置による中心市街地の活性化などに取り組んでまいります。

【デジタル トランス フォーメーション】の推進としては、本庁舎等への、「キオスク端末の設置」をはじめ、新たに、市内公共施設5か所に、フリーワイファイを増設し、市民の利便性向上を図ります。

また、本庁舎に、無線ラン環境を整備することで、ペーパーレス化をこれまで以上に推進してまいります。

【防災・減災対策の充実・強化】では、生活用水の確保のため、民間の井戸所有者のご協力のもと、「災害時協力井戸制度」を開始します。

また、災害時に、円滑な情報収集と状況判断を行い、リアルタイムに映像を共有するための「情報 集約・共有システム」を導入し、罹災証明の発行などについても、円滑に行うための「被災者生活再建支援システム」を整備します。

災害から市民の命と暮らしを守るため、ハード・ソフトの両面から、災害に強いまちづくりに向けた取り組みを引き続き推進してまいります。

【将来を見据えた持続可能なまちづくり】については、まず、地球温暖化対策として、CO2排出量の削減に向けた取り組みを推進するとともに、上尾駅前東西に「冷却ミスト」を整備することで、ヒートアイランド現象の緩和や、熱中症対策にも取り組んでまいります。

また、スポーツ健康都市にふさわしい「人生100年時代」を見据えた事業として、本市独自の「健康ポイントアプリ」を導入し、市民の皆様の健康の維持・増進のための施策を、庁内横断的に展開してまいります。

次に、12月定例会において採択されました「上尾市いじめ問題調査委員会調査に関する請願」について、でございます。

請願の内容や、被害生徒のご家族からのご要望を踏まえ、教育委員会が行った調査について、市による再調査を行うため、「上尾市いじめ問題再調査委員会」を設置することとしました。

再調査委員会は、本年度中に設置し、速やかに調査に着手してまいります。

私からは以上でございますが、議案並びに諸報告については、担当部長から説明いたしますので、よろしくお願い申し上げます。